

## 令和3年度 事業報告

令和2年年明け当初から新型コロナウイルス感染症騒動が始まり、丸2年経った現在も収束の兆しが見えず変異株のまん延が続いています。

新型コロナウイルス感染症の第5波までは、会員の感染者もほとんど見受けられませんでした。オミクロン株の感染拡大が始まった第6波以降は会員の感染者も大幅に増加しました。幸い重篤者はおられず、また事務局の事務も停止することなく現在に至っています。

令和3年度は第3次中期計画(3カ年)の最終年度でしたが、センター活動においては新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限のため、委員会活動、地区活動、独自事業を始め会員同好会、親睦会等休止せざるを得ない状況が続きました。就業現場においても、コロナ禍の影響を受け就業時間の短縮、就業人員の削減、契約解除と、事業高にも会員数にも大きな影響を及ぼしています。

事業高では選挙公報、ゴミ袋サンプル、ハローごみ、防災マップ等の単発の配布業務の受注が多くあったため事業高は741百万円と前年より52百万円増加し目標の680百万円を大きく伸ばしました。広報紙配布に携わる会員に頑張っていたいただいた結果です。

会員状況では、定年延長やコロナ禍等の影響による2年続く減少傾向を食い止めるため、出前入会説明会を1度開催しました。これにより昨年より2名増の2,199人となりましたが、目標の2,300人には届きませんでした。

就業率においても80.6%で目標の80%を上回りました。

安全面では、傷害事故件数が昨年より4件少ない12件となり、賠償事故においても昨年より6件少ない1件となりました。

センター及び地区での各種取組みも、コロナ禍の影響により、多くを中止しなければならない状況となり、事業計画を進めるまでは行かずコロナ禍の収束を期待するだけの年度となりました。

### 1. 事業実績

#### (1) 事業高

##### 請負・委任の事業高

広報紙を除く請負、委任ではコロナ禍の影響を受け低調でしたが、西宮市からのハローごみ、防災マップ、ゴミ袋サンプル、選挙公報などの単発の広報紙配布業務が多かったことにより請負・委任の事業高は前年比109.5%、646百万円となり前年より約56百万円の増となりました。

広報紙配布業務のみでは、(前年度比158.4%)で約58百万円の増でした。民間事業所関係の業務においては、就業時間の短縮や契約終了もあり、一般家庭からの家事援助の依頼や便利屋チーム、独自事業のパソコン教室、手作りチーム包丁研ぎも前

年度比では減少となり、あいつこの会、英語教室は休止となりました。

事業種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
公共事業	164,962,611 円	140,803,251 円	196,271,395 円	55,468,144 円	139.4 %
民間事業	433,534,849 円	375,510,007 円	377,141,662 円	1,631,655 円	100.4 %
一般家庭	73,570,367 円	72,897,083 円	72,078,146 円	▲818,937 円	98.9 %
独自事業	4,709,493 円	1,076,741 円	1,034,058 円	▲42,683 円	96.0 %
合 計	676,777,320 円	590,287,082 円	646,525,261 円	56,238,179 円	109.5 %

### 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣の事業高も時短や就業人員の削減などコロナ禍の影響を受け、今年度も減少となりました。事業高で前年度比 95.8%で約 4 百万円の減。就業実人員は 141 人で前年度より 23 人減、就業延人員も 1,892 人の減となりました。

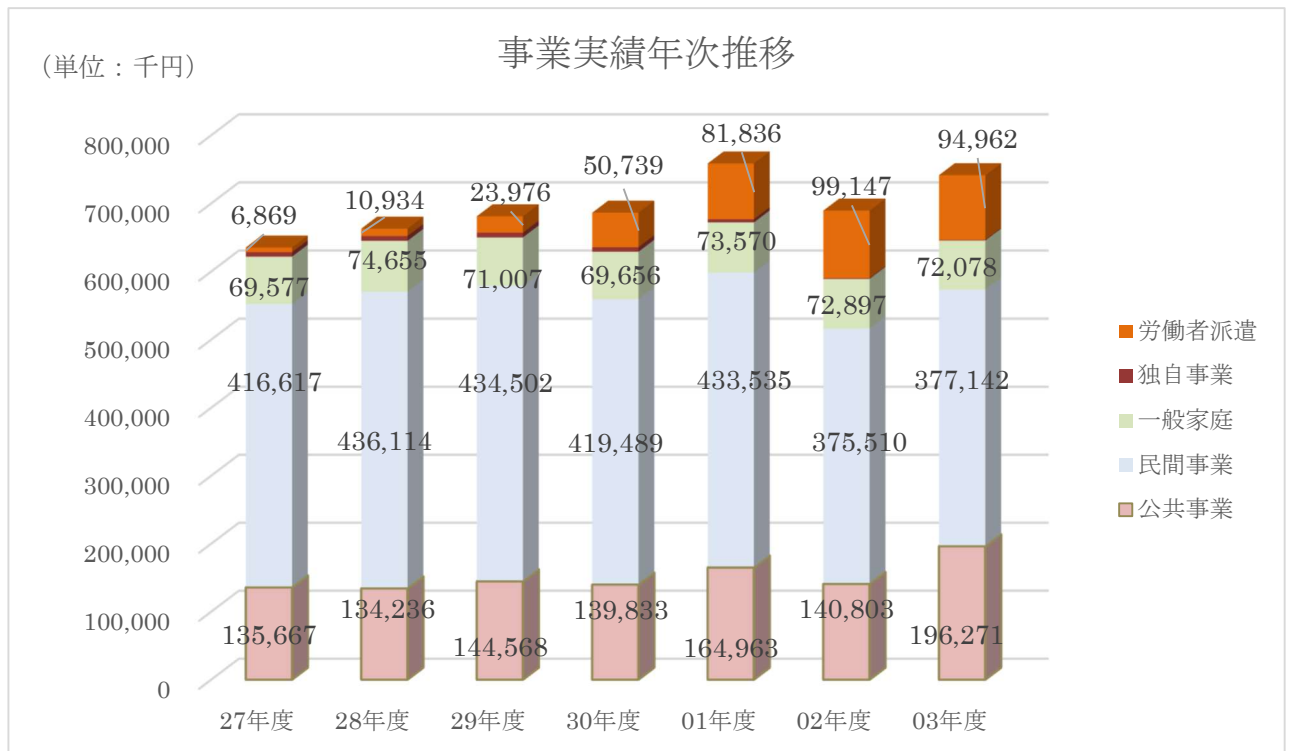
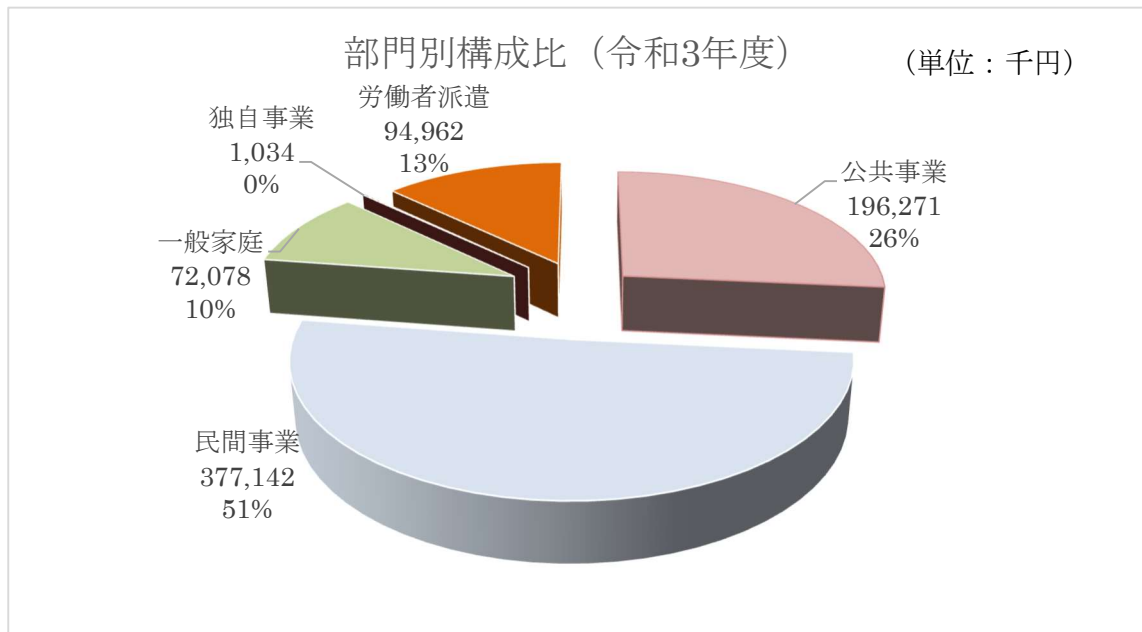
派遣事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比		
事業高	81,836,489 円	99,146,964 円	94,962,352 円	▲4,184,612 円	95.8 %	
会員賃金	64,405,952 円	79,497,120 円	75,440,878 円	▲4,056,242 円	94.9 %	
手数料収入	17,430,537 円	19,649,844 円	19,521,474 円	▲128,370 円	99.3 %	
※ 派遣収入	(8,434,800 円)	(9,758,100 円)	(9,106,900 円)	(▲,651,200 円)	(93.3 %)	
就業実人員	172 人	164 人	141 人	▲23 人	86.0 %	
就業延人員	15,811 人	20,517 人	18,625 人	▲1,892 人	90.8 %	
平均就業日数	年	125.1 日	91.9 日	132.1 日	40.2 日	143.7 %
	月	10.4 日	7.7 日	11.0 日	3.3 日	142.9 %
月平均賃金	31,204 円	40,394 円	44,587 円	4,193 円	110.4 %	

※ 派遣収入は、上段手数料収入の内、兵シ協分を除いた当センターの収入額です

### 「請負・委任」＋「派遣」の合計事業高

請負・委任及び派遣を合わせた全体の事業高合計は、年度目標の 680 百万円を大きく上回り、前年度比約 7.6%（5 百万円）増の、741 百万円となりました。コロナ禍では、請負・委任、派遣が相対的に減少しましたが、広報紙配布業務が大きく増えたため、目標を達成した年度となりました。

合計事業高	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
請負・委任	676,777,320 円	590,287,082 円	646,525,261 円	56,238,179 円	109.5%
派遣	81,836,489 円	99,146,964 円	94,962,352 円	▲4,184,612 円	95.8%
合計	758,613,809 円	689,434,046 円	741,487,613 円	52,053,567 円	107.6%



※ 独自事業は、少額のため上記の棒グラフには数字の表記はございません。

## (2) 会員の状況

291 人の新入会員に対し退会会員は 289 人、2 人の増加となり令和 3 年度末の会員数は 2,199 人、前年度比 100.1%となりました。

会員拡大チラシを市域全域に新聞折込し、「翔アップ」を 1 月に全戸配布しました。しかし、コロナによる外出控の影響により、説明会参加希望者も増えず、目標の 2,300 人には大きく届きませんでした。

男女別では、男性 8 人の減、女性は 10 人の増となりました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
入会者数	267 人	257 人	291 人	34 人	113.2%
退会者数	316 人	313 人	289 人	▲24 人	92.3%
増 減	▲49 人	▲56 人	2 人	---	---
会 員 数	2,253 人	2,197 人	2,199 人	2 人	100.1%

## 会員数 男女内訳等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
会員数	計	2,253 人	2,197 人	2,199 人	2 人	100.1%
		平均 73.8 歳	平均 74.2 歳	平均 74.5 歳	0.3 歳	---
	男性	1,469 人	1,437 人	1,429 人	▲8 人	99.4%
		平均 74.3 歳	平均 74.8 歳	平均 75.1 歳	0.3 歳	---
	女性	784 人	760 人	770 人	10 人	101.3%
		平均 72.8 歳	平均 73.1 歳	平均 73.3 歳	0.2 歳	---
粗入会率		1.59 %	1.54 %	1.52 %		

上記、粗入会率計算方法： 会員数÷市内 60 歳以上人口 (13 頁参照)

## (3) 就業率の状況

就業率は、前年度より就業実人員を 23 人減少し、前年度比 1.3%減となりましたが、最終の就業率は 80.6%となり、何とか目標は達成しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
会員数	2,253 人	2,197 人	2,199 人	2 人	100.1%
就業率	81.7 %	81.7 %	80.6 %	・・・	・・・
就業実人員	1,841 人	1,795 人	1,772 人	▲23 人	98.7 %
就業延人員	224,436 人	208,819 人	213,344 人	4,525 人	102.2 %

※上記は請負・委任 + 派遣

## 2. 具体的な取組み

### (1) 会員拡大と就業意識向上への支援 (会員増強委員会)

コロナ禍に対応した会員拡大として、人数制限のある中で、少人数の入会説明会の回数を増やし会員数維持に努めた。

#### 新入会員拡大

- ・令和3年11月、4年1月の2回、会員募集チラシを新聞折込み実施。約11万枚
- ・シルバー人材センター前の掲示板に募集チラシを常時掲載。
- ・市広報掲示板に「会員募集！」ポスターを掲示。

秋：190カ所 春：190カ所

#### 入会説明会

- ・3密を避け短時間で説明会・登録手続き・個人面談を終了させるようプログラムを変更し、開催日程を増やして実施。 毎月1回を年間36回実施
- ・入会説明会での就業体験談発表者継続。
- ・入会説明会の欠席者防止のため、毎回前日に電話での出欠確認を取った。
- ・出前説明会（塩瀬山口地区）開催。出前説明会開催案内チラシを新聞折込と郵便局にチラシ設置・ポスターを掲示。

#### 未就業会員への就業促進活動及び就業意識の向上

- ・各種交流会・講習会の開催はコロナ感染拡大防止のため中止。

#### 会員力の向上

- ・コロナ禍により講習会等が実施不可となった。

### (2) 地域ニーズに応える就業開拓活動の推進 (就業開拓委員会)

コロナ感染症の影響により事業所等の訪問は自粛し、感染リスクの低いチラシでのPR活動を中心に行った。

#### 各種広報媒体の活用

- ・就業拡大PRチラシの新聞折込み 11月と1月の2回/年 各11万枚

## 事業所への訪問

- ・地域を限定し事業所へのPRチラシ投函 手渡し154件、投函41件

## その他の活動

- ・白水峡墓参バス利用者に会員委託で、阪急西宮北口駅、市役所前で「お墓掃除」PRティッシュの配布。  
夏：2日間（440部）、秋：2日間（380部）、春：2日間（380部）
- ・満池谷墓地においても同様に「お墓掃除」PRティッシュの配布。  
夏：2日間（500部）、秋：2日間（500部）、春：2日間（500部）
- ・市広報掲示板に「お仕事引き受けます！」ポスターを掲示。  
春：190カ所
- ・「さくらFM」でスポットCMを放送。  
日曜、火曜の昼前 通年実施
- ・地域情報誌「宮っ子」、シニアライフ協会会報「いぶき」に広告掲載。  
宮っ子：年1回 いぶき：年2回

## (3) 健康で安全に就業できる環境づくり【安全・適正委員会】

### 会員の健康と安全意識向上のための啓発活動の推進

- ・就業に関わる事故の予防策として、「事故防止及び事故取扱基準」制定（令和3年4月1日施行）後の発生事故案件に対し審査を行った。（内、2件について安全就業基準違反として対処）
- ・「事故防止及び事故取扱基準」に従い、会員の一部負担徴収を開始した。
- ・月報に取扱基準に関する記事を連載し、周知に努めた。
- ・月報に健康・安全に関する啓発記事を以下のとおり掲載した。
  - 4月号 令和2年度「チャレンジ100」達成の速報
  - 5月号 「チャレンジ100」（達成者10名の紹介と代表のコメント紹介）
  - 6月号 熱中症注意喚起、交通安全週間（7月1日～7日）自転車・自動車運転注意
  - 7月号 夏の交通事故防止運動（7月15日～24日）チラシ同封
  - 9月号 新型コロナ感染症予防 就業事故防止啓発（事故事例7件）  
台風・豪雨時の対応：「自分の身は自分で守る！」
  - 10月号 安全：自転車事故防止啓発 健康：新型コロナ感染注意喚起！  
事故発生状況：3件の事例紹介
  - 11月号 新型コロナ感染者減少も予防対策継続を呼びかけ  
「年末の交通安全防止運動」（12月1日～10日）
  - 12月号 年末年始に向け、「健康」と「安全」について注意喚起  
コロナ・インフルエンザ注意、年末年始の交通安全
  - 1月号 新型コロナ、オミクロン株に変異し、感染力が強く注意喚起

2月号 新型コロナ、オミクロン株、猛威への感染注意喚起。家族感染に注意

3月号 コロナの感染予防継続（会員に感染者及び濃厚接触者）  
「春の全国交通安全運動」（4月6日～15日）

- ・令和3年度「チャレンジ100」（10月1日～1月8日）広報紙配送会員等、10名が参加し、3年連続無事故無違反を達成した。
- ・健康及び交通安全、救命などの講習会はコロナ禍により実施できなかった。
- ・除草・剪定の就業現場に、安全パトロールを実施し6月～2月：20箇所、点検リストに沿って安全基準の遵守状況を確認し事故防止に努めた。
- ・令和2年度傷害事故及び賠償（物損）事故発生状況。  
傷害事故が12件、賠償（物損）事故が1件発生した。

傷害事故	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度増減
就業中	11件	6件	10件	+4件
就業途上	5件	10件	2件	-8件
(内自転車)	(4件)	(6件)	(2件)	(-4件)
合計	16件	16件	12件	-4件
賠償事故	2件	7件	1件	-6件

就業途上事故、自転車事故及び賠償事故は減少したが、就業中の事故は増加した。

#### 適正就業への取組み

- ・事務局と連携し、請負及び派遣就業の適正化に取り組んだ。
- ・適正就業に対する講習会を委員会メンバーで実施した。

#### (4) 地区地域班活動の活発化【地区活動委員会】

コロナ禍により地区活動が大幅に制限され、多くの地区行事は中止せざるを得なかった。

##### 地区地域班活動の活発化

- ・リーダー・サブリーダー会議や広報紙責任者会議において、地区間の課題整理と、事務局と地区との連携強化に努めた。

リーダー会議 12月15日 AM 広報紙責任者会議 12月15日 PM

##### 広報紙配布・配送の課題整理

- ・広報紙配布業務は選挙関連広報紙及び単発の増加もあり、地区会員の努力により、発注者から高い評価を得る中で円滑に実施できた。
- ・配送業務は次年度より西宮市が直接民間業者に委託することになり、民間業者から配布物の受け取り方法、配布物回収業務担当者の選定、回収業務の単価等、次年度に向けた準備を行った。

地区地域班の努力により配布した広報紙等

市政ニュース	年：23回	
県民だより	12回	
市議会だより	4回	
県議会だより	4回	
市営住宅だより	4回	広報紙配布事業高
社協広報紙「しあわせ」	4回	156,757千円
医療共済	4回	
選挙広報紙	3回	
その他（スポット）	6回	

#### 合同清掃ボランティア

- ・コロナ禍により、中止した。

#### 地区地域班での会員相互の交流と親睦

- ・会員が集まる行事の開催ができなかった。班交流会や女子会などは全て中止となった。唯一、地区役員の努力で、地区だよりの発行が各々の地区内での重要な情報交換の場となった。

#### 他委員会との協議連携

- ・会員増強委員会と新入会員の地区案内文書作成について、また、広報・企画委員会とグランドゴルフ開催に向けての協議を行った。
- ・公園パトロール  
地域の子供たちが遊ぶ公園遊具の安全を確保するために、市内全域約530カ所の公園で、遊具の等の安全点検業務を実施。点検業務の研修は市の協力を得て実施した。

### (5)組織活動の活発化ならびに情報受発信体制の強化【広報・企画委員会】

会員主体によるセンター活動ならびに地区活動の活発化については、本年度もコロナ感染症の影響が大きく昨年度同様予定していた事業が行えず、知名度を上げるPR活動を中心とした。

#### 会員向け情報発信の強化

- ・月報「シルバーにしのみや」を毎月発行。

#### 全市民向け情報発信の充実

- ・1月に市民向け「翔アップ」春号を市内全戸に配布。
- ・センター市民向け掲示板を活用し、季節イメージを取入れた情報発信を行った。
- ・市内190カ所の市の掲示板に年2回、PRポスターを掲示。

#### 会員参加イベントの推進

- ・コロナ禍により、「いきいきシルバーフェア」「書道、写真、絵画の同好会作品展」「研修バスツアー」及び新たに企画検討した「グランドゴルフ大会」は中止。



## 社会貢献活動の継続

- ・会員により集められた「ベルマーク」「インクカートリッジ」は、11月21日大社小学校に寄贈した。
- ・さくら祭工作教室、ぴよぴよサロン、夏休み子ども工作教室、子ども将棋大会、全地区開催の清掃ボランティアはコロナ禍により中止。

## (6) 会員への就業提供の推進【就業拡大チーム】

今年度も、就業相談会を毎週月曜日定例開催とし、未就業会員の減少に努めたが、コロナ禍により、相談期間が制限され前年度相談者数を下回った。

### 未就業会員への就業提供の推進

- ・定例就業相談会  
実施期間：4月、8月、11月～2月、毎週月曜日午後  
参加者：20名(昨年28名)(内就業確定7名、待機11名)
- ・未就業会員へのアンケート調査の実施と就業相談会への参加呼びかけ  
実施期間：1月  
令和3年4月～10月入会の未就業会員68名に送付。  
アンケート回答者：42名、相談者4名
- ・各地区での就業相談会はコロナ禍により中止した。

### 女性会員の就業機会の確保

- ・就業相談会で面談の女性9名の内、就業確定者4名。

## (7) 第3次中期計画進捗管理【事業推進会議】

第3次中期計画の終了年度である令和3年度においても、コロナ禍により各委員会及び地区活動の活動が制限され事業が計画通りには進まず、事業推進会議としても目的を果たすことができなかった。

- ・基本目標の事業高、については、当初計画していなかった広報紙配布の単発（一過性）業務が増えたため、目標を大きく上回った。しかし、広報紙配布業務を除く請負・委任及び派遣業務についてはコロナ禍の影響を受け事業高は本年度も減少を続けた。

会員数についてはコロナ禍ではあったが会員増強委員会の努力により、人数制限の説明会を大幅に回数を増やし、前年を2人上回ることができたが目標には届かなかった。

就業率はコロナ禍であったが目標の80%を達成した。

(6頁参照)

## **(8) 組織活動の活発化【理事会】**

理事会、委員会、事務局が連携してコロナ禍で可能な事業運営を模索した。

### 委員会活動

- ・各委員会ともコロナ禍の影響により、多くの活動が制限された。その中でも、工夫し、出来る範囲での活動や、取組みを実施した。

### 財政体質の強化

- ・不要不急な支出は行わず、公益法人に相応しい適切な支出に努めた。

### 関係団体との連携

- ・兵庫県、西宮市、全シ協、兵シ協、近隣シルバー、社会福祉協議会等、関係機関との連携に努めた。
- ・近隣シルバー理事長会議と連絡を連携し、情報収集及び意見交換を行った。
- ・阪神ブロック会議に出席し、情報収集と連携を図った。

## **(9) 事務の効率化と会員活動への支援【事務局】**

### **(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業**

#### 派遣事業への取り組み

- ・新規受注は、請負か派遣かを見極め適正就業となるよう契約推進に取り組んだ。

#### 有料職業紹介事業

- ・令和3年度も有料職業紹介に至るまでの相談事例はなかった。

#### 効率的かつ適正な事務局業務の推進

- ・事務局は兵シ協及び阪神ブロック（8市1町）の各シルバー事務局と随時事務処理について情報交換を行った。
- ・全シ協、兵シ協、のリモート研修会に出席し事務能力の向上に努めた。
- ・就業相談会の実施

就業相談会を継続実施した。（10頁参照）

#### 理事会、委員会、地区地域班との連携強化

- ・理事会、委員会と連携し事業運営の支援を行った。
- ・地区活動について連絡・報告での支援と協力を得た。
- ・令和4年度からの広報紙配送業務が民間へ移行することについて調整を図り、地区活動委員会、地区役員からの協力を得た。